

主日礼拝

2024 年 08 月 25 日
午前 10 時 30 分

前奏 「日にして光なるキリスト」(G.バーム)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「起きよ、光を放て。
 あなたを照らす光は昇り
 主の栄光はあなたの上に輝く。
 見よ、闇は地を覆い
 暗黒が国々を包んでいる。
 しかし、あなたの上には主が輝き出で
 主の栄光があなたの上に現れる。」
 (イザヤ書 60:1, 2)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
 からはた一だ主に あれ一、と一こしえまで一。
 アーメン。

交読詩編 98:1~6

司式者：新しい歌を主に向かって歌え。
 会 衆：主は驚くべき御業を成し遂げられた。
 司式者：右の御手、聖なる御腕によって
 会 衆：主は救いの御業を果たされた。
 司式者：主は救いを示し
 会 衆：恵みの御業を諸国の民の目に現し
 司式者：イスラエルの家に対する
 慈しみとまことを御心に留められた。
 会 衆：地の果てまですべての人は
 わたしたちの神の救いの御業を見た。
 司式者：全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。
 会 衆：歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。
 司式者：琴に合わせてほめ歌え
 会 衆：琴に合わせて、樂の音に合わせて。
 司式者：ラッパを吹き、角笛を響かせて
 会 衆：王なる主の御前に喜びの叫びをあげよ。

賛美 12 - 1、4 「とうときわが神よ」

Dir. dir. o Höchster
 詞：Bartholomäus Crassellius, 1667-1724
 DIR. DIR. JEHOVAH
 曲：Hamburger Musikalisches Handbuch, 1690

1 とうときわが か みよ、くらぶるものなき主よ、
 4 いかにさちな るかな、しんじてもとむるもの、
 こころまずしけ れど、せいれいのちからうけ、
 > そのいのりす べてを かみはつねにききたもう。>
 主イエスのみ名をあがめ われほめたたえうたわん。
 > たぐいなきあいの主を とこしえにほめたたえん。

1 とうときわが神よ、くらぶるものなき主よ、
 4 いかに幸なるかな、信じて求むる者、
 心算しけれど、聖霊の力受け、
 その祈りすべてを 神は常にききたもう。
 主イエスのみ名をあがめ われほめたたえ歌わん。
 たぐいなき愛の主を とこしえにほめたたえん。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キ リ エ エ レ イ ソ ン キ リ エ エ レ イ ソ ン
 し ゅ よ あ わ れ み を し ゅ よ あ わ れ み を
 キ リ エ エ レ ー ー イ ソ ン
 し ゅ よ あ わ れ ー ー み を

聖書 ヨハネによる福音書 8: 12~20

新約(新共同訳)P181

12 イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」13 それで、ファリサイ派の人々が言った。「あなたは自分について証しをしている。その証しは真実ではない。」14 イエスは答えて言われた。「たとえわたしが自分について証しをするとしても、その証しは真実である。自分がどこから来たのか、そしてどこへ行くのか、わたしは知っているからだ。しかし、あなたたちは、わたしがどこから来てどこへ行くのか、知らない。15 あなたたちは肉に従って裁くが、わたしはだれをも裁かない。16 しかし、もしわたしが裁くとすれば、わたしの裁きは真実である。なぜならわたしはひとりではなく、わたしをお遣わしになった父と共にいるからである。17 あなたたちの律法には、二人が行う証しは真実であると書いてある。18 わたしは自分について証しをしており、わたしをお遣わしになった父もわたしについて証しをしてくださる。」19 彼らが「あなたの父はどこにいるのか」と言うと、イエスはお答えになった。「あなたたちは、わたしもわたしの父も知らない。もし、わたしを知っていたら、わたしの父をも知るはずだ。」20 イエスは神殿の境内で教えておられたとき、宝物殿の近くでこれらのことを話された。しかし、だれもイエスを捕らえなかった。イエスの時がまだ来ていなかったからである。

賛美 491 「永遠の光よ」

Eternal light, shine in my heart
詞: Christopher Idle, 1938-

ACH BLEIB BEI UNS
曲: (編) Sethus Calvisius, 1556-1615



1 えいえんの ひかりよ、 わが ころを て らし、
 2 えいえんの ちからよ、 わが すべてを さ え、
 3 えいえんの いのちよ、 死よりよみ が え せ、
 4 えいえんの せいれい、 いのちを そそぎ ころみ、
 5 みこえに まねかれ、 みまえにあつめ られ、



えいえんの のぞみよ、 目をあげさせた ま え。
 ▶ えいえんの えいちよ、 ちえをあたえた ま え。
 ▶ えいえんの かがやき、 われにしめた ま え。
 ▶ えいえんの すくいよ、 われにきたりた ま え。
 したしく 主イエスを あおぎみる とき ま で。

1 永遠の光よ、わが心を照らし、
 永遠の望みよ、目をあげさせたまえ。
 2 永遠の力よ、わがすべてを支え、
 永遠の救いよ、知恵を与えたまえ。

3 永遠の命よ、死よりよみがえらせ、
 永遠の輝き われに示したまえ。
 4 永遠の聖霊、命を注ぎこみ、
 永遠の救いよ、われにきたりたまえ。

5 み声に招かれ、み前に集められ、
 親しく主イエスを 仰ぎ見る時まで。

説教 「イエスさまの光に導かれ」

賛美 171 「かみさまのあいは」

版: 佐久間彰, 1928-2014

KAMISAMA NO AI
曲: 佐久間彰, 1928-



かみさまの あいは しみと おる、



わたしたちのこころに ひのひかりのよに。



1 やまも おかも
 2 もりも はやしも
 3 こどもも おとなも いっしょに さんびのうたを うた おう。
 4 さあ みんな



うみも おがわも
 とりも けものも いっしょに さんびのうたを うた おう。
 おとも おんなも
 いっまでも

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「輝け、イエスよ」

(D.ブラックウェル)

司式 袁 紅
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。